

藤沢周平の江戸・東京

山形大学地域教育文化学部の前身の山形師範学校を卒業した作家藤沢周平の作品の舞台となった江戸の面影残る東京で、江戸文学・藤沢文学の研究者の案内による町歩きと落語口演、対談を実施します。

平成28年3月4日(金) 13時～16時30分

第一部 両国町歩き ～ 江戸文学と藤沢周平文学の舞台を探訪 ～

山本 陽史(やまもと はるふみ)教授をナビゲーターに藤沢作品『用心棒日月抄』、『彫師伊之助捕物覚えシリーズ』等の舞台となった、両国を歩き、藤沢文学の世界と今も残る江戸の名残を探訪します。(歩行距離約2km)

- 開催時間 13時～14時45分 ※荒天時にはコース変更、中止にする場合があります
- 集合場所 江戸東京博物館 会議室(東京都墨田区横網1-4-1)12時50分集合
- ナビゲーター 山形大学 教授 山本 陽史
- 予定コース 両国橋東詰～回向院(鼠小僧次郎吉の墓・相撲興行の地)～吉良上野介邸跡～豎川(江戸落語中興の祖立川(烏亭)焉馬ゆかりの川)～江戸東京博物館

第二部 桂 伸治師匠 落語口演 対談「生きている江戸」 桂 伸治師匠×山形大学 山本 陽史教授

- 開催時間 15時～16時30分
- 会場 江戸東京博物館 会議室



桂 伸治
(かつら しんじ)
東京都生まれ

1974年 4月 二代目桂伸治に入門
前座名は桂平治
1979年 4月 平治のまま二ツ目昇進
1989年 4月 真打ち昇進
同時に三代目桂伸治を襲名



山本 陽史
(やまもと はるふみ)
和歌山県生まれ

山形大学 教授(基盤教育担当)
専門は日本文学
近世日本文学者
小説家藤沢周平の研究者

<交通案内>

- ①JR総武線両国駅 西口下車徒歩3分
- ②都営大江戸線両国駅A3・A4出口徒歩1分
- ③都バス隅38系統、門33系統、錦27系統、横網1丁目下車



- 募集定員: 第一部 40名・第二部 60名 先着順
- 参加費: 300円(保険料等)

(第一部参加者のみ当日現金でいただきます。第二部のみ参加の場合は無料。)

- 受付開始: **2月8日(月)10時から**
- ※受付開始日時前の申込は無効となりますのでご注意ください。お申し込み方法は、裏面申込書をご覧ください。



お問い合わせ
山形大学総務部広報室
電話:023-628-4010 FAX:023-628-4013
E-mail:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場(江戸東京博物館)へのお問い合わせはご遠慮ください。

〈申込先〉 山形大学総務部広報室

FAX:023-628-4013 E-mail:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「藤沢周平の江戸・東京」申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、ファックスをお送りいただくか、以下の情報を入力してE-mailをお送りください。

なお、受付開始は**平成28年2月8日（月）午前10時**です。それ**以前**のお申し込みは**無効**となりますのでご注意ください。

ふりがな お名前 (生年月日)	(年 月 日生)	性別
		男・女
ご住所	〒 -	
連絡先電話番号	ご自宅： - -	携帯電話： - -
Eメール	@	
参加方法 希望に○をつけてください	※一部にご参加の方は、そのまま二部もご聴講ください 一部及び二部 ・ 二部のみ	
山形大学からの連絡方法 希望に○をつけてください	郵送 ・ ご自宅電話 ・ 携帯電話 ・ Eメール	

※ 連絡方法にEメールをご希望の場合で携帯電話のアドレスを記載された方は、koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定しておいてください。

※ 今回記載していただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

※ 町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮の上ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。
(仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)